
2021年5月23日(日) **ウタセ真鯛** 強丸 ツレと
中潮:旧4/12 干潮 09:34(60cm) 満潮 15:47(184cm) 干潮 21:44(62cm) 鳥羽
自分 チダイ 34cm他 3尾 クロダイ 38cm 1尾 カレイ 1尾 カサゴ 1尾
ツレ チダイ 30cm 1尾 カワハギ 1尾 ウマヅラハギ 1尾

11時30分 出船 / 15時47分 満潮 184cm : 鳥羽 / 18時40分 沖上がり

【料金】 乗り合い 12,000円 餌つき 氷なし 釣り座は抽選

【仕掛け】

自作仕掛け

ハリス5号200cm 幹糸6号 枝間220cm 伊勢尼12号3本鉤 捨て糸3号50cm:自分

ハリス5号140cm 幹糸6号 枝間150cm 伊勢尼12号3本鉤 捨て糸3号50cm:ツレ

※以前の記録(功成丸の船長の話)から、「ハリスの長さは120cm、ハリス・幹糸とも6号」と思っていたが、強丸の船長はどう考えているか尋ねた。「ハリスの長さは150cm～180cm」ということだったので、以前に作っておいた上記の仕掛けを持参した。

※春は潮が大きいのでハリスを長くすると以前の船長から聞いていた。確かに、調べてみると、春の潮は大きい。昨年、功成丸に乗船したのは、5月26日であり、この時、「次回は120cmで」と記録している。ゴールデンウィークより早くウタセ真鯛釣りに行くつもりはない。以上のことから、次回から、春のウタセ真鯛釣りでも、「ハリス6号120cm」にすることにしよう。

電動リール 竿受け バッテリー 竿:ウタセ真鯛用(自分) マダイ用竿(ツレ)
錘 20号～60号(10号も持参すべき) エビ用網 ‘かんこ’から魚をすくうためのタモ
魚を締めるためにゴム手袋、アイスピック、ナイフ

【様子】

- 当日のお客さんは8名だった。
- 釣り座の抽選は2番くじ。左舷大艫と一つ前に並んで釣ることになった。
- 天気は晴れ、風は微風。初め、少し波やうねりがあったが、収まっていった。
- 酔い止めは、乗船1時間前に飲んだ。酔わなかった。
- せっかく大艫に座れたのに、仕掛けが船の前に向かって流れた。
- 「おもりは、みよし15号、艫30号」と船長から指示があった。
- おもり30号でスタート、しかし、胴の人と頻繁にお祭りをする。結局、50号で釣った。
- 仕掛けを底に落としておくと、下2つの餌が餌取りによりなくなる。
- 船の前の人と絡むのは嫌だが、出す糸ふけは少しにして、おぼせ釣りを試した。
- 小さな当たりが分かる。餌取りの当たりだろうと思いながら、合わせてみたが掛からない。やっぱり餌取りである。
- 糸ふけを3mくらい出しても、船の前の人とは絡まないようであるので、おぼせ釣りを続けた。
- 餌取りの小さな当たりがなくなると餌がないので、小さな当たりがなくなったら、少し待って、餌のチェックをした。餌取りは下2つの餌を取っていき、一番上の餌が残っているので、小さな当たりがなくなっても、少し待った。
- これを繰り返しながら、鯛らしき当たりがあるまで待った。
- クンクンと大きめの当たりがあった。合わせた。30cmほどのタイだった。

- ツレに釣り方を教えた。しばらくして、タイを釣った。
- おぼせ釣りを続けた。タイ2尾、カレイ、カサゴを追加した。
- 潮が止まってきた。おもり20号でやった。
- 満潮がすぎて、潮の流れが変わった。仕掛けが後に流れていく。夕まずめに近づいている。
- 餌取りが多くなった。底から10mを切って、一番下の餌がなくなる状態となった。さっぱり当たりがない。
- 潮がだんだん大きくなった。おもり40号に変えた。夕まずめになってきた。餌取りは多いがおぼせ釣りを試した。
- しばらくしてヒット。クロダイが上がってきた。
- 午後6時40分、納竿となった。
- 今日はあまり釣れなかった。お客さんは全部で8名。自分は良かった方である。

→ 次回は、ハリス120cm、幹糸・ハリスとも6号でやりたい。

→ 以前の記録を読んでから釣行に望むべし。